

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(54)番 福山市立野々浜小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	積極性・主体性	共感力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した情報などを根拠にして解決しようとしている。	生活体験や既習事項から理由や根拠のもとに自分の考えを持ち、絵や言葉、動作など適切な方法を選択し、表現している。	集団の中で、自分がやるべきことに気が付き、進んで行動している。	相手の気持ちを考え、行動している。

2 授業の現状

- ・学び合いにより「自分の考えが深まった」肯定評価の児童が増えたが、自分の考えを説明することに課題がある児童が固定化している。
- ・課題解決を図る授業設定が十分できていない。

転換

3 めざす授業の姿

- 考えを分かりやすく伝え合い、深めることができる授業
- 児童が主体的に課題に取り組むことができる。
- 対話を通して、自分の考えを伝え合い、思考を深めることができる。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
①児童から「問い」が生まれるような導入の工夫をする。 ②ペア・グループ・フリートークなど、互いの考えを伝え合い、課題解決が自然にできるような展開を考える。	①児童アンケート結果「絵を描くことが好き」86.8%、「工作が好き」94.6%。導入の写真や具体物の掲示、技能のスキルアップ等工夫した。 ②児童アンケート結果「話し合いで考えが深まった」68.2%。グループ学習の話し合いの仕方を評価することが必要。	①図画工作科において、各単元の作品を事前に試作し、指導計画を具体化する。 ②算数科授業において、児童が考えを伝え合う場を、具体的に交流する。	①事前に試作することによって、指導のポイントや必要な準備物等を明確にすることができた。 ②考えを伝え合う場をビデオで撮影し、交流した。児童の会話を十分把握できないため、全体交流の支援につなげることが課題。	①図画工作科において、単元の導入の工夫を交流する。 ②算数科授業において、児童が課題を見つけ、取り組む授業の工夫を交流する。	

5 取組の結果等

数値は2019年(R1年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) 〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

国語	57.0 (-9.0)	自分にはよいところがある	89.4
算数	55.0 (-13.0)	先生はよいところを認めてくれる	94.8
		将来の夢や目標を持っている	94.7
		人の役に立つ人間になりたい	94.7

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	84.2
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	89.5
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	100.0
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	78.9

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (12)月末現在

暴力行為	0	不登校	0
------	---	-----	---

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】2019年(R1年)

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 25/48	H30目標 「長座体前屈、シャトルランで県平均を超える学年を4学年以上にする。」 →県平均以上は長座1学年、シャトル2学年が達成した。	共通:「ボール投げ」 「握力」	・朝のグーパー運動の継続 ・学級遊びや体力UP期間に、投の運動を取り入れる。
(女子) 27/48			
目標値	・「握力」が、県平均を上回る学年が4学年以上 ・「ボール投げ」が県平均を上回る学年が4学年以上		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	62.5	37.5
仕事に充実感がある	50.0	50.0

児童生徒アンケート(%)

(12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	74.8	25.2
自分の考えは、認められている	69.4	30.6